

大代

婦人会だより

No.194

R2.7.3

新型コロナウイルス ウィルスのなかで



会長 佐藤京子

新年度初めての「婦人会だより」の文章が新型コロナウイルスに心が奪われていつものように山々の清々しさ、小鳥のさえずりの可愛らしさを書けない状態になっています。

4月9日に島根県内で初めての感染者が出てから緊張感が一気に高まり、手洗い、うがい、マスクや三密を避けることはわかっていたのですが何をしたらとウロウロする有様でした。

お陰様で婦人会の総会は3月1日に皆様のご協力のお陰で無事終えること

が出来ました。総会前日、役員でテーブル、いす、戸口、ドアノブの消毒や玄関に消毒液を置いて人と人との間を離し、当日もう一度消毒をして新型コロナウイルス対策をしました。来客もなく講演も取りやめ時間短縮の総会でした。

4月の福祉弁当も楽しみに待つておられると十々思いますが三密の感染の危険性を避ける為にしばらくご自宅で頑張っていただいたいと思います。

幸い今の時点で大田市では感染者の方がでていませんが、もし出た時はまちづくりセンターの閉鎖となっておりますので今後の支部長会の延期も考えております。

J Aでは女性部の総会を支部長のみで各地域の代議員さんに委任状をお願いし、総会を5月15日に行いました。

新型コロナウイルスの大きな波が世界中を渦巻く中、人の命を一番に考え今私達が出来ることが自分がつらないう、人にうつさないを心に日々の生活に潤いを入れる工夫をして過ごしましょう。先の見えない中、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

☆令和2年度 大代婦人会 ☆

会員数 48名

役員

顧問 今田文子

会長 佐藤京子

副会長 渡利マサコ 竹間初美

会計 高村玲子

監査 掛水知佐子 山根鈴子

J A女性部支部長 佐藤京子

部活動

《文化部》 研修 広報

部長 横田美恵子

部員 渡利マサコ 竹間初美

佐藤京子 原田由久子

原田ミサ子

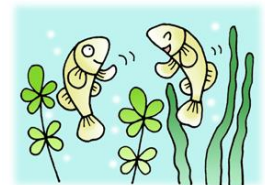
《産業部》 野菜(文化祭) お茶作り

部長 渡利マサコ

部員 山根鈴子 永井恵子

室田佑子 釘せつ子

高村玲子 佐藤京子



《生活部》食品加工 文化祭バザー

部長 坂本久美子
 部長 森孝枝
 部長 山根千代美

中垣裕子 竹内節子
 掛水知佐子 飯田智美

《厚生部》健康 福祉弁当

部長 竹間初美
 部長 今田文字 花田武子

梨木久子 田中百合子
 渡 栄

層別活動

さわやか 花田時子 笠井日出子
 ゆり 室田佑子 花田武子
 たんぽぽ 飯田智美 田中百合子

支部役員

川上 田中百合子 鈺せつ子
 椿 柿丸寿枝 花田武子
 四日市 梨木久子
 上市・下谷・植松 横田美恵子
 下市 永井恵子 原田由久子
 八反田 中垣裕子 竹間初美
 右原 渡利マサコ
 本郷 山根鈴子
 山田 坂本久美子
 飯谷 掛水知佐子 原田ミサ子

月	福祉弁当	局三二広場	支部長会当番
4月	上市・四日市	川上	4/5 上市・下市
5月	下市		5/19 八反田・右原
6月	八反田・右原・本郷	椿	7/26 本郷・山田
7月	川上		8/30 飯谷・川上
8月		四日市・上市	10/25 椿・四日市
9月			12/6 上市・下市
10月	山田・本会		2/7 八反田・右原
11月	有志		
12月	飯谷	下市	
1月			
2月			
3月	有志	八反田・右原・本郷・山田 (3~5月)	

近況報告

植松支部 笠井日出子



「手に受けて 開け見て落花 なかりけり」

上野公園で散りゆく桜の、様子を詠んだ高浜虚子の句

今年の桜の開花はいつもより早く散ってしまったような気がします。それでも山桜が後を追って咲いて、水仙が色取りどりで畑の廻りを美しくしてくれました。

毎日新型コロナウイルス感染症のニュースばかり、目に見えない広がり、いつまで続くのでしょうか？まだこの辺は廻りがのどかなせいか、切実に感じないようですけど、コロナで苦しんでいる人達のことを考えると不安で暗

くなりがちになります。

畑に行つて山々を見ると木々は若草色の芽が出て、小鳥もさえずっています。思い切り深呼吸を試みます。都会では外出もままならず、巣ごもり状態が続いているとのこと。うつされないこと、うつさないことに気をつけて早く新型コロナウイルス感染症が終息することを祈るばかりです。

私の近況報告、今はコロナウイルスのことが頭から離れません。皆様もくれぐれも気をつけてお過ごしください。

◆ 俳句 ◆

あすなろ句会



花田 時子

突然の出水恐ろし一人住む

うつつうしい暦通りの梅雨の入り

蝮出て動かざること夫に告ぐ

今田 文子

梅雨晴間洗濯物を急ぎ乾す

岩田 律枝

亡き夫の植へし盛りのさつき紅こぼす
くちなしの花の香りて咲くを知る

横田美恵子

若竹を今夜の煮物に皮を剥ぐ
細き苗花つけしまま売られたり

柿丸 寿枝

四方の草延び放題に梅雨豪雨

蝸牛記憶の糸のその先に



□編集後記 やっとお届け致します。



皆様お元気でお過ごしでしょうか？「婦人会だより5月号」は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が出たために会合が出来ず、発行できませんでした。尚、今回の原稿は4月にいただいた原稿ですのでご了承ください。

4月以降大代は山々もすっかり緑の濃淡で彩られ、田んぼでは小さかった稲苗が大きくなり風に揺れています。またたびの葉も白く色づいています。人が外に出なくなつてサル被害は相変わらずで、赤ちゃんを背負つての野菜への被害は困つたものです。

連日報道されていますように先が見えないこの新型コロナウイルス感染症ですが、第2波・第3波と続くようでも、いつ感染するかわかりません。なるべく人ごみに出ないように外出を控えみんなで命を守りましょう。本年度もよろしくお願いいたします。

編集部